

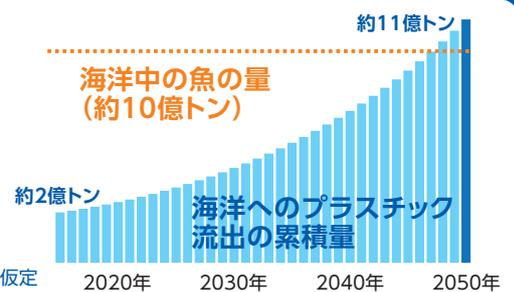
# 漁業者のみなさまへ、ご協力をお願いします

## 漁具等の資材を適正に管理し、 海への流出を防止しましょう!



2050年には、海洋中に存在するプラスチックの量は、重量ベースで魚の量を超えると推定されています。

- プラスチックの生産量が、毎年5%増加すると仮定
- 生産量(2015年は3.22億トン)の約3%が海に流出と仮定



### プラスチックごみが増えると・・・

#### 船舶航行への障害

漂流するビニールが、船舶の取水口を塞ぎ、エンジントラブルが生じる恐れがあります。



#### 漁業への影響

漂流するプラスチックごみが、漁網に引っかかって作業を妨げるなどの被害の恐れがあります。



詳しくは裏面へ! →

今後も豊かな漁場を守るために・・・

## 漁具の流出防止、 適正使用・適正処理

に取り組みましょう！

**大雨や台風の前**は、  
漁具が飛散・流出しない  
よう、**しっかりと固定**する  
か、**倉庫などに収納**しま  
しょう。



使用中の漁具の海洋  
流出を防止するため、  
**操業前後の点検**を行  
い  
ましょう。



漁網



発泡スチロール製  
フロート

**船の上から**、レジ袋や  
ペットボトル、使用済み  
漁具などの**ポイ捨て**は  
やめましょう。



漁具としての使用が  
想定されていないプラ  
スチック製品の漁具への  
**流用**や、漁具の**不適切な  
使用**はやめましょう。

(例：洗剤容器の浮標とし  
ての使用など。)

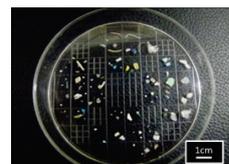


海洋に流出したプラスチックは、やがて**マイクロプラスチック**に  
なります

海に流れ着いたプラスチックごみは、紫外線や波の影響で  
**劣化・破砕**を繰り返しながら、**細かいプラスチック片**になります。

こうなると、**海での回収はほぼ不可能**になってしまいます。

**海洋生態系への影響**も懸念されており、世界的な課題となっています。



漁業系廃棄物は事業者自らの責任において適正に処理しましょう。  
※海上に廃棄物を捨てる行為は法律で禁止されています。※